

越冬野菜 春先の管理

タマネギ、ソラマメなどの越冬野菜は日差しが強くなる3月頃から目に見えて生長しはじめます。その前後の管理が生育の良否を大きく左右しますので、以下のことに気をつけて適期作業を行って下さい。

タマネギ

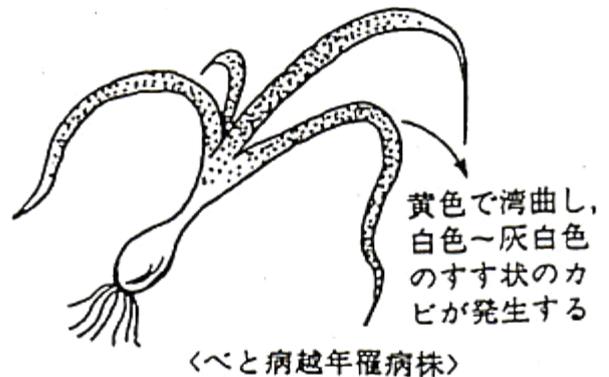
1 追肥



追肥は3月上旬までに2回程度に分けて条間に施用します。1回の追肥は化成肥料で1a当たり3～4kg程度とします。それより遅れると、貯蔵中に腐敗球が発生する原因となります。

2 病害防除

冬から春先にかけて温暖多雨になると、べと病、白色疫病などが発生します。2月下旬～3月に越冬罹病株(全身感染症状)は抜き取ります。さらに3月下旬頃から薬剤による防除を行います。なお、防除にあたっては、薬液が付着しにくいので、展着剤を加用して下さい。



3 除草

雑草が多いと、タマネギの収量に大きく影響します。手取り除草できない場合は除草剤で抑えることができます。

ソラマメ

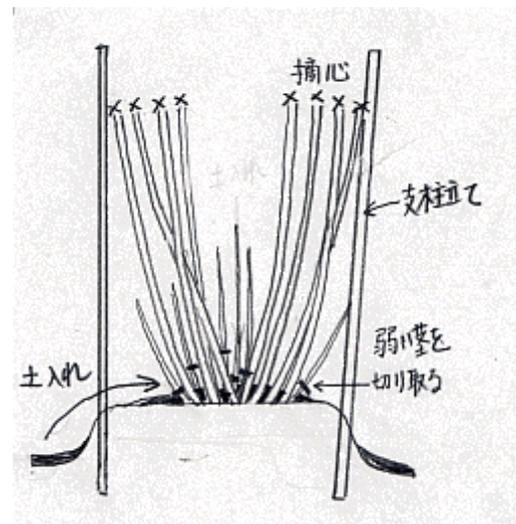
1 追肥、土寄せ(土入れ)



3月中・下旬に化成肥料で1a当たり2kg程度施し、追肥の後には土寄せ(土入れ)入れをします。

2 支柱立て・整枝

茎が倒れないように、支柱を立て、畝の両側に2～3mごとに杭を立てテープを張ります。下位節から出る強い枝を残して、他は切り取り、1株8本程度に仕立てます。また、20節前後で摘心することで、倒伏防止、莢の肥大促進、アブラムシ飛来防止対策になります。



3 病虫害防除

アブラムシは、ウイルス病の媒介、生育抑制をします。株が小さい冬季から芯をよく観察して、アブラムシが発生したら防除します。

葉に赤色の斑点を生じる輪紋病については肥切れさせないように注意し、予防的に薬剤散布します。

4 除草

中耕、土入れなどと兼ねて浅く除草します。

[\(戻る\)](#)